

PTA会報



入学式



PTA 定例総会

◎ 笑顔であいさつ

PTA会長 兼松 博之



PTA会員の皆様。平素よりPTA活動にご理解ご協力を頂き、ありがとうございます。一般のPTA定例総会におきまして、昨年度に引き続き平成26年度のPTA会長を拝命いたしました兼松博之と申します。

私が、羽島高校のPTA役員を務めさせて頂いて今年で6年目となりました。このところ毎年ですが、今年度も役員を選考は大変苦勞しました。大役をお引き受け頂いた新役員の皆様には心より感謝しております。また、多くの会員の皆様、ご家族の皆様突然お電話を致しまして、ずいぶんご迷惑をおかけしましたことを、この場をお借りしましてお詫び申し上げます。

先日、同窓会の席で、「PTAの役員選びで苦勞している…」という話をしましたところ、同級生の女性から、「いきなり顔も見たことのない男性から、電話でPTA役員になりませんか？なんて言われて、引き受ける人はまずいないよ。お互い知り合って、打ち解けないとね…」と言われました。

確かに、「PTA会長の〇〇ですが…」なんて電話口でいきなり言われても、戸惑うだけだろうなあ〜と、つくづく思いました。では、どうやって皆さんと知り合い、打ち解ければよいのか??? 難しい課題です。

禅の世界に「一挨拶(いちあいっさつ)」という言葉があります。これは、禅問答のなかで言葉や動作

で互いの悟りの深淺などを試す様子を表し、ひとつ押しひとつ迫る、心を開いて相手に接するというような意味があり、これが今日の「挨拶」の語源と言われていいます。

「挨拶」は、自分の心を開きながら相手の心を開く、コミュニケーションの基本であり、その力を高めるのが「笑顔」です。

私は福祉関係の仕事に就いており、様々なご相談を受けることがあります。相談を受ける時に常に気をつけていることは、「笑顔であいさつ」です。あまりよい人相とはいえない顔なので、笑顔には結構苦勞していますが、挨拶を交わしながら、相手がどういう気持ちでいるかを察しながらお話を伺います。相手のお話をお聴きするだけで終わることもしばしばですが、相談が終わった後、相手が笑顔で挨拶をして頂けると、「今日の話し合いはうまくいったかも…」という実感がこみ上げます。

家庭でのコミュニケーションにおいても、「笑顔であいさつ」に心掛けていきたいものです。子どもたちは何かと反発してしまう年頃ですが、心の奥底では「分かり合いたい」と思っています。根気よく、笑顔で子どもたちを支えていきましょう。

PTAの活動は、今年度も多くのことはできませんが、あいさつ運動や文化祭、なまず祭りへの協力、部活動の支援など、「笑顔」を大切に、少しでも多くの皆様と知り合い、打ち解けることができるような楽しい活動にしていきたいと思っています。皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。